

第349回 番組審議会

1. 日 時 令和8年 3月 10日 (火) 12:00～
2. 場 所 ホテルメトロポリタン盛岡NEW WING
3F「星雲東の間」
3. 委 員 委員総数 8名
出席委員数 7名

○ 出席委員 (敬称略)

鈴木 厚人 (委員長)
佐藤 修一 (副委員長)
— 50音順 —
石田 征広
大瀬 雅和
岸 真英
平野 順子
八木橋 伸之

○ 会社側出席者

高嶋 昇 (代表取締役社長)
君澤 温 (常務取締役)
小田島 健秀 (取締役総務局長)
櫻 克宏 (取締役営業編成局長)
近谷 利政 (取締役報道制作局長)
高橋 一彦 (めんこいエンタープライズ制作部長)

○ 事務局

岩渕 博美

4. 議題 「山・海・漬 いわたの匠たち 2026冬」

放送日時：令和8年2月28日（土）18：30～19：00

5. 議事概要

今回は、2月28日に放送した「山・海・漬 いわたの匠たち 2026冬」について審議しました。

はじめに、ディレクターの高橋一彦が「和紙、スキー場のゲレンデ整備、炭焼きの3つの題材を通して、培われてきた技や人の営みを伝えたいと考えて制作した」「それぞれの技や迫力、空気感が映像で伝わるように意識した」と、番組のテーマや内容について説明しました。

【委員からの意見】

委員からは「内容がとても面白く、現場の裏側には大変な作業があるということを感じ、とても勉強になった」「岩手の文化や産業の価値を視聴者に再認識させる、非常に意義のある構成だった」「時間的にも内容的にも、一つ一つの取り上げのバランスがちょうど良かった」といった意見が出ました。

一方で、「技や製品についてもう少し深く知りたかった」「今後の展望や、若い世代が関わるきっかけとなる情報が入るとよかった」という意見もありました。